

【患者情報フォーマット】 静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用にかかわる実態調査

基本情報

- ・医療機関名（正式名称）「」
- ・患者登録番号（施設名の最初のアルファベット大文字 1 文字+3 桁数字 例：N003 など）
「」
- ・年齢（歳（発症時））；「」
- ・性別； 男性 女性
- ・身長（cm 整数で入力）；「」
- ・体重（kg（発症時、小数点 1 桁入力））；「 . 」
- ・(BMI（自動計算されます）)
- ・主病名（例：脳梗塞、肺癌など）；「」

カテーテル感染情報

- ・静脈栄養法が選択された適応を教えてください（1つ回答）
消化管閉塞、難治性の嘔吐、難治性の下痢、消化管出血、汎発性腹膜炎、重度急性膵炎、
炎症性腸疾患重症期、小腸大量切除（短腸症候群）、数日間の絶食で治療可能な病態、
緩和ケアにおける脱水予防、不明、その他「」
- ・報告症例は静脈カテーテル感染症ですか、カテーテル閉塞ですか（複数選択可能）
静脈カテーテル感染症症例、カテーテル閉塞症例
- ・発生した場所について、教えてください（1つ回答）
病棟、在宅、介護等の施設、その他「」
- ・静脈カテーテル感染症の発症日はわかりますか？
はい「発症日；年月日」、いいえ
- ・カテーテル挿入日はわかりますか？
はい「挿入日；年月日」、いいえ
- ・静脈カテーテル感染症後のカテーテル抜去の有無
はい、いいえ
- ・カテーテル抜去日はわかりますか？
はい「抜去日；年月日」、いいえ
- ・カテーテルの種類（1つ回答）
PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）、CVC（非トンネル型中心静脈カテーテル）
CV ポート（皮下埋め込み型中心静脈カテーテル）、末梢静脈カテーテル
その他「」
- ・カテーテルの先端の形状（1つ回答）
オープンエンド（開放型）、グローション（閉鎖型）、不明
- ・カテーテルルーメン（1つ回答）
シングルルーメンカテーテル、マルチルーメンカテーテル、不明
- ・カテーテルの挿入部位（1つ回答）
内頸、鎖骨下、上腕、大腿（鼠径）、不明、その他「」
- ・静脈カテーテル感染発症時においてカテーテル感染症以外の感染症の有無
あり、なし、不明

栄養摂取情報

- ・推定必要エネルギー ; 「 」 kcal/日
- ・実投与カロリー量 ; 「 」 kcal/日
- ・実投与カロリー量について、「中心静脈栄養：経管栄養：経口」の投与割合
(0~10 で記載、末梢静脈カテーテル感染症の場合、中心静脈栄養は末梢静脈栄養と読み替えてください)
; 中心静脈栄養：経管栄養：経口 = 「 : : 」
- ・静脈カテーテル感染症発症前の絶食期間 (1つ回答)
○7日未満、○7日以上14日未満、○14日以上28日未満、○28日以上2か月未満、
○2か月以上3か月未満、○3か月以上4か月未満、○4か月以上5か月未満、
○5か月以上6か月未満、○6か月以上
- ・静脈カテーテル感染症発症前の絶食期間について、具体的な日数が分かれば教えてください
; 「 」日
- ・静脈栄養の内容 (複数選択可)
; 高カロリー輸液製剤、糖加アミノ酸輸液製剤、脂肪乳剤、低張電解質輸液製剤
総合ビタミン剤、微量元素製剤、その他
- ・インスリン、経口糖尿病薬による治療の有無 (1つ回答)
; ○あり、○なし、○不明
- ・静脈カテーテル感染症の診断から抗菌薬投与終了までの期間 (日数)
; 「 」日

臨床検査値

- ・総コレステロール値 (発症前直近、整数入力) ; 「 」 mg/dL
- ・血清アルブミン値 (発症直前、小数点1桁入力) ; 「 . 」 g/dL
- ・総リンパ球数 (発症前直近、整数入力) ; 「 」 mm3
- ・白血球数 (発症前直近、整数入力) ; 「 」 / μ l
- ・C反応性タンパク (CRP) (発症前直近、小数点1桁入力) ; 「 . 」 mg/dL
- ・血糖値 (発症前直近、整数入力) ; 「 」 g/dL

菌培養結果

- ・血液培養検出菌 (1つ回答)
; ○CNS (コアグララーゼ陰性ブドウ球菌)、○MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、
○ブドウ球菌属 (Staphylococcus) (CNS、MRSA 以外)、○腸球菌属、○クレブシエラ属、
○大腸菌、○エンテロバクター属、○シュードモナス属、○バシラス属、○カンジダ属
○不明、○その他 「 」
- ・カテーテル先端培養検出菌 (1つ回答)
; ○CNS (コアグララーゼ陰性ブドウ球菌)、○MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、
○ブドウ球菌属 (Staphylococcus) (CNS、MRSA 以外)、○腸球菌属、○クレブシエラ属、
○大腸菌、○エンテロバクター属、○シュードモナス属、○バシラス属、○カンジダ属
○不明、○その他 「 」
- ・原因微生物 (起炎菌) (1つ回答)
; ○CNS (コアグララーゼ陰性ブドウ球菌)、○MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、
○ブドウ球菌属 (Staphylococcus) (CNS、MRSA 以外)、○腸球菌属、○クレブシエラ属、
○大腸菌、○エンテロバクター属、○シュードモナス属、○バシラス属、○カンジダ属
○不明、○その他 「 」

使用の抗菌薬

- ・感染症に使用した抗菌薬の種類を教えてください（複数選択可能）
 - ペニシリン系、セフェム系、カルバペネム系、アミノグリコシド系、グリコペプチド系、リンコマイシン系、テトラサイクリン系、モノバクタム系（アザクタム）、ホスホマイシン
 - ニューキノロン系、オキサゾリジニン系、リポペプチド系（キュビシン）
 - その他（上記分類や下層の薬剤名が見当たらない場合）
- ・①○使用した具体的な抗菌薬の略語について教えてください「
」
 - 商品名について教えてください「
」
 - 治療期間（日数）を教えてください「
」日間
- ・②○使用した具体的な抗菌薬の略語について教えてください「
」
 - 商品名について教えてください「
」
 - 治療期間（日数）を教えてください「
」日間
- ・③○使用した具体的な抗菌薬の略語について教えてください「
」
 - 商品名について教えてください「
」
 - 治療期間（日数）を教えてください「
」日間
- ・④○使用した具体的な抗菌薬の略語について教えてください「
」
 - 商品名について教えてください「
」
 - 治療期間（日数）を教えてください「
」日間

転帰・感染原因

- ・転帰（1つ回答）
 - 回復、軽快、未回復、回復したが後遺症あり、死亡、不明
- ・静脈カテーテル感染症を発症した原因について何が考えられますか？（複数選択可）
 - 不適切なルート管理、不適切な輸液管理、不適切な挿入部位管理、低栄養、糖尿病/免疫能低下
 - 抗菌薬長期投与による菌交代現象、他の感染巣、脂肪乳剤の投与、血液製剤の投与、不明
 - その他「
」

カテーテル閉塞

- ・カテーテルの種類
 - PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）、CVC（非トンネル型中心静脈カテーテル）、CVポート（皮下埋め込み型中心静脈カテーテル）、末梢静脈カテーテル、不明
 - その他「
」
- ・カテーテルの先端の形状
 - オープンエンド（開放型）、グローション（閉鎖型）、不明
- ・カテーテルルーメン
 - シングルルーメンカテーテル、マルチルーメンカテーテル、不明
- ・カテーテル挿入日はわかりますか？
 - はい「挿入日；
年 月 日」、いいえ
- ・カテーテル閉塞日はわかりますか？
 - はい「閉塞日；
年 月 日」、いいえ
- ・閉塞によるカテーテル抜去の有無
- ・カテーテル閉塞時に**主管**から投与されていた**注射薬**（複数記載可能、自由記載）
「
」
- ・カテーテル閉塞時に**主管**から投与されていた**輸液**（複数記載可能、自由記載）
「
」

- ・カテーテル閉塞時に側管から投与されていた注射薬（複数記載可能、自由記載）

「

- ・カテーテル閉塞時に側管から投与されていた輸液（複数記載可能、自由記載）

「

- ・閉塞前のフラッシングの有無

あり、なし、不明

- ・カテーテル閉塞による直接的な転帰

回復、軽快、未回復、回復したが後遺症あり、死亡、不明

- ・カテーテル閉塞が発生した原因について何が考えられますか？ （複数選択可）

配合変化、不適切なフラッシング、不適切なロック方法、脂肪乳剤の投与

血液製剤の投与、複数回の側管投与、カテーテル材質と抗血栓性、不明

その他

」

」